

(評価値の計算)

第3条 前条第1項の第1評価値及び第2評価値は、次の式により計算するものとする。

$$\log EA_1 = \log M_1 + 1.645 \sqrt{\log^2 \sigma_1 + 0.084}$$

$$\log EA_2 = \log M_1 + 1.151 (\log^2 \sigma_1 + 0.084)$$

これらの式において、 EA_1 、 M_1 、 σ_1 及び EA_2 は、それぞれ次の値を表すものとする。

EA_1 第1評価値
 M_1 A測定の実測値の幾何平均値
 σ_1 A測定の実測値の幾何標準偏差
 EA_2 第2評価値

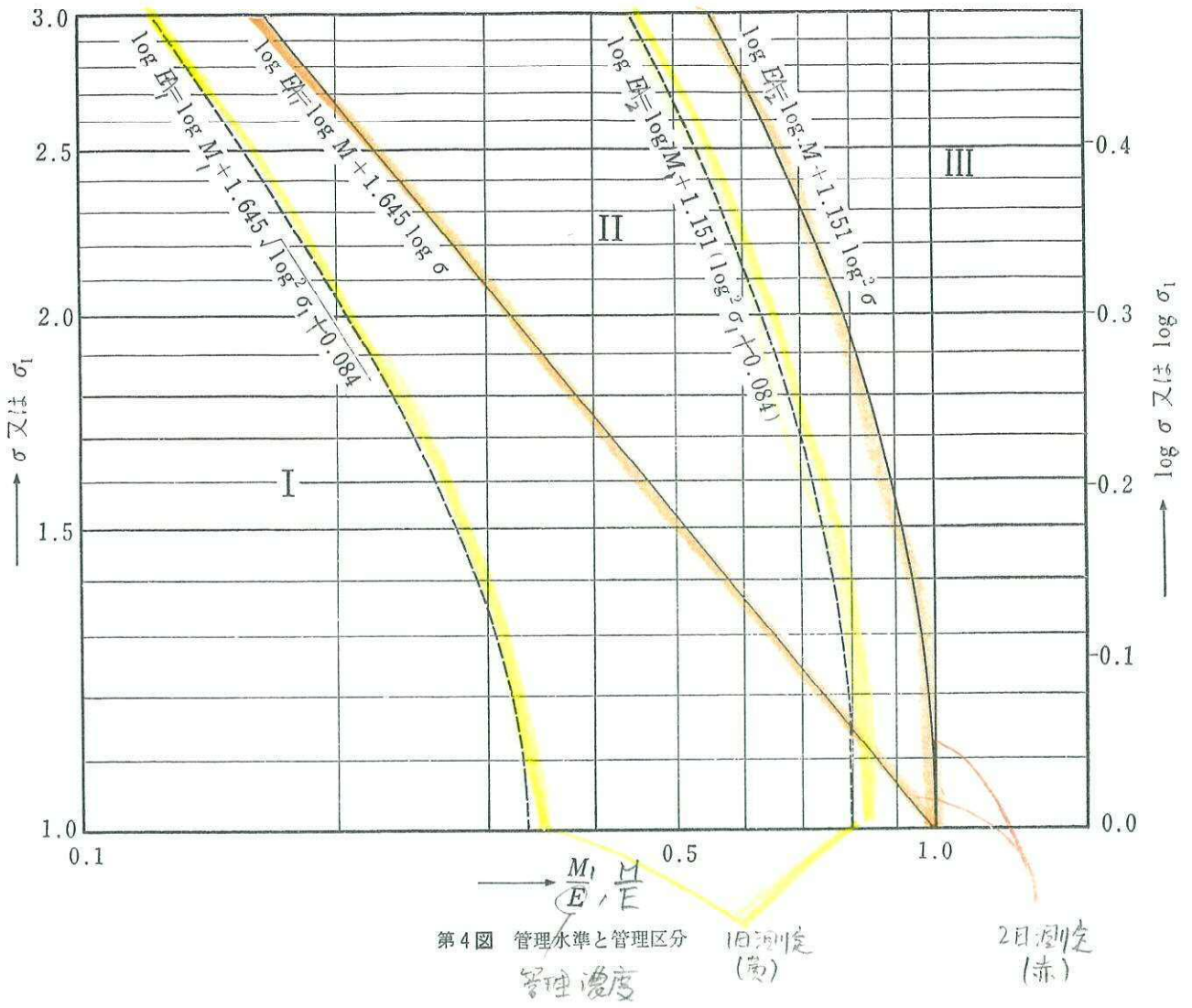
② 前項の規定にかかわらず、連続する2作業日（連続する2作業日について測定を行うことができない合理的な理由がある場合にあつては、必要最小限の間隔を空けた2作業日）に測定を行ったときは、第1評価値及び第2評価値は、次の式により計算することができる。

$$\log EA_1 = \frac{1}{2} (\log M_1 + \log M_2) + 1.645 \sqrt{\frac{1}{2} (\log^2 \sigma_1 + \log^2 \sigma_2) + \frac{1}{2} (\log M_1 - \log M_2)^2}$$

$$\log EA_2 = \frac{1}{2} (\log M_1 + \log M_2) + 1.151 \left\{ \frac{1}{2} (\log^2 \sigma_1 + \log^2 \sigma_2) + \frac{1}{2} (\log M_1 - \log M_2)^2 \right\}$$

これらの式において、 EA_1 、 M_1 、 M_2 、 σ_1 、 σ_2 及び EA_2 は、それぞれ次の値を表すものとする。

EA_1 第1評価値
 M_1 1日目のA測定の実測値の幾何平均値
 M_2 2日目のA測定の実測値の幾何平均値
 σ_1 1日目のA測定の実測値の幾何標準偏差
 σ_2 2日目のA測定の実測値の幾何標準偏差
 EA_2 第2評価値



奥重治, 作業環境評価尺度表, (社)日本作業環境
 測定協会, 改訂第3版 平成15年4月10日, 41頁